平成28年度　決算概要書／事務事業評価シート

課　名	上下水道課

予算	款	項	目	決算書	
	4	1	5	196	頁

目　　名
上水道費

事業名称
水道事業

１．概要

目的	安全な飲料水を安定的に供給することを図る	対象	給水区域
事業概要	○水道事業 　三重町の上水道給水区域内及び清川、緒方、大野、千歳、犬飼の簡易水道給水区域内へ飲料水を供給するための補助金及び繰出金		

臨／経	細事業名称	事業内容（主な経費等）		前年度決算額（千円）	予算現額（千円）	決算額（千円）	財源内訳				評価
							国・県支出金	地方債	その他	一般	
経常	水道事業	簡易水道特別会計繰出金	繰出金	86,642	78,630	78,630				78,630	3
計				86,642	78,630	78,630	0	0	0	78,630	

２．指標設定

成果指標	指標名	安定的に飲料水が供給されている人口割合	目標年度	H32	指標の設定理由
	数値	62%			総合計画前期基本計画の3-2-(1)で目標としているため

活動指標									
	指標	a		b		c		d	
	数値	目標		目標		目標		目標	

３．実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８
安定的に飲料水が供給されている人口割合	%	62.8 %	63.3 %	63.9 %
		101.3 %	102.1 %	103.1 %

活動指標名		単位	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８
a					
b					
c					
d					

４．課題と対応

課題
個人、組合の水道施設があり加入促進に苦慮している
対応（改善点等）
加入促進のため、施設維持管理や安全性・安定性を啓発していく

５．事業費・・・Ｈ２６～Ｈ２８（決算額）、Ｈ２９（予算現額）

決算額（千円）		H26	H27	H28	H29
		99,237	86,642	78,630	74,618
	うち経常経費	57,606	57,657	57,256	63,043
財源内訳	国県費				
	市債				
	その他				
	一般財源	99,237	86,642	78,630	74,618
	うち経常	57,606	57,657	57,256	63,043

６．Ｈ３０年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
水道事業運営のため

７．担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	飲料水の安全性の確保と安定供給は必要である
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	多くの市民に対し、安全な飲料水を安定的に供給する必要がある
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	飲料水の安全性の確保のための水質検査や、安定供給のための漏水、施設修理は適切な手段である
④ 事業の有効性	成果指標の判断	3	目標どおりの成果があがってきている

８．内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き、適切な事業実施に努めること。

平成28年度　決算概要書／事務事業評価シート

課　名	上下水道課

予算	款	項	目	決算書	
	4	2	3	200	頁

目　　名
下水道費

事業名称
生活排水処理事業

1．概要

目的	生活排水を適切に処理し、公共用水域の水質を保全するとともに、公衆衛生の向上を図る	対象	市民

事業概要

〇浄化槽設置整備事業
　浄化槽を設置する者に対して、補助金を交付

〇浄化槽法に関する事務
　浄化槽法に関する県の事務を受託し、浄化槽を適切に管理

〇農業集落排水事業
　三重町上田原、清川町砂田、緒方町馬場・中央・原尻・知田・井上の計7処理区域内の汚水処理

〇公共下水道事業
　大野町田中処理区域内の汚水処理

〇浄化槽市町村整備推進事業
　緒方町で設置した市町村設置型浄化槽の維持・管理

〇生活排水事務費
　生活排水処理事業に係る事務経費

臨／経	細事業名称	事業内容（主な経費等）		前年度決算額（千円）	予算現額（千円）	決算額（千円）	財源内訳				評価
							国・県支出金	地方債	その他	一般	
臨時	浄化槽設置整備事業	202基設置	負担金補助及び交付金	80,726	113,480	113,030	75,097			37,933	3
経常	浄化槽法に関する事務	取扱件数709件	需用費	147	310	129	129				3
経常	農業集落排水事業	処理人口　2,744人 処理水量　360,979㎥	繰出金	96,238	104,451	104,451				104,451	3
経常	公共下水道事業	処理人口　921人 処理水量　106,618㎥	繰出金	53,785	57,319	57,319				57,319	3
経常	浄化槽市町村整備推進事業	処理人口1618人 管理基数645基	繰出金	16,511	18,249	18,249				18,249	3
経常	生活排水事務費	協議会等負担金	負担金補助及び交付金	181	703	380				380	3
計				247,588	294,512	293,558	75,226	0	0	218,332	

２．指標設定

成果指標	指標名	汚水処理人口普及率	目標年度	H32	指標の設定理由
	数値	53.0%			総合計画前期基本計画の3-2-(2)で目標としているため

活動指標									
指標	a	合併処理浄化槽設置基数	b		c		d	
数値	目標	200基	目標		目標		目標	

３．実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８
汚水処理人口普及率	%	55.2 %	57.3 %	58.5 %
		104.2 %	108.1 %	110.4 %

活動指標名		単位	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８
a	合併処理浄化槽設置基数	人	132 基	143 基	202 基
			66.0 %	71.5 %	101.0 %
b		人			
c		人			
d					

４．課題と対応

課題
汚水処理人口普及率は年々伸びてきてはいるが、県下あるいは全国的に見てまだまだ下位に位置している
対応（改善点等）
浄化槽設置補助金の上乗せ補助を継続し、浄化槽の普及を促進する

５．事業費・・・Ｈ２６～Ｈ２８（決算額）、Ｈ２９（予算現額）

決算額（千円）		H26	H27	H28	H29
		216,610	247,588	293,558	311,129
	うち経常経費	106,501	135,553	146,416	161,613
財源内訳	国県費	55,588	38,010	75,226	75,420
	市債				
	その他		7		
	一般財源	161,022	209,571	218,332	235,709
	うち経常	106,326	135,399	146,287	161,303

６．Ｈ３０年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
浄化槽設置者に対する補助金交付等、一定の経費が必要となるため

７．担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	良質な水環境づくりのため、生活排水による公共用水域の負荷を低減させる必要がある
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	集合処理事業については、法令等により市が事業主体になることが定められている
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	汚水処理人口普及率を向上させるために、生活排水処理事業を実施している
④ 事業の有効性	成果指標の判断	3	汚水処理人口普及率が伸びている

８．内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き、適切な事業実施に努めること。

平成28年度　決算概要書／事務事業評価シート

課　名	上下水道課

予算	款	項	目	決算書	
	―	―	―	524	頁

目　　名
―

事業名称
簡易水道特別会計事業

１．概要

目的	各給水区域に飲料水を供給する	対象	各給水区域内の市民

事業概要

〇簡易水道事業

①清川簡易水道	・現在給水人口	925人
	・年間総配水量	92,989㎥
②緒方簡易水道	・現在給水人口	2,939人
	・年間総配水量	424,231㎥
③大野簡易水道	・現在給水人口	1,198人
	・年間総配水量	199,698㎥
④千歳簡易水道	・現在給水人口	1,868人
	・年間総配水量	201,568㎥
⑤犬飼簡易水道	・現在給水人口	3,654人
	・年間総配水量	564,349㎥
計	・現在給水人口	10,584人
	・年間総配水量	1,482,835㎥

平成２８年度　千歳簡水送水管布設事業

臨／経	細事業名称	事業内容（主な経費等）		前年度決算額（千円）	予算現額（千円）	決算額（千円）	財源内訳				評価
							国・県支出金	地方債	その他	一般	
経常	簡易水道事業	千歳簡水送水管工事	工事請負費	269,194	630,874	487306	58,550	164,000	1,752	263,004	3
計				269,194	630,874	487,306	58,550	164,000	1,752	263,004	

２．指標設定

成果指標	指標名	安定的に飲料水が供給されている人口割合	目標年度	H32	指標の設定理由
	数値	62%			総合計画前期基本計画の3-2-(1)で目標としているため

活動指標									
指標	a	水質試験	b	漏水、施設修理	c		d	
数値	目標	年12回	目標	随時	目標		目標	

３．実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８
安定的に飲料水が供給されている人口割合	%	62.8 %	63.3 %	63.9 %
		101.3 %	102.1 %	103.1 %

活動指標名		単位	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８
a	水質試験	回	12 回	12 回	12 回
			100.0 %	100.0 %	100.0 %
b	漏水、施設修理	%	100.0 %	100.0 %	100.0 %
c					
d					

４．課題と対応

課題
組合、個人の水道施設があり加入金や使用料等の経費から加入促進に苦慮している。
対応（改善点等）
加入促進のため施設維持管理や安全性・安定性を啓発していく。

５．事業費・・・Ｈ２６～Ｈ２８（決算額）、Ｈ２９（予算現額）

決算額（千円）		H26	H27	H28	H29
		298,079	269,194	487,306	257,792
	うち経常経費	271,997	253,138	246,551	240,839
財源内訳	国県費	5,000		58,550	
	市債			164,000	
	その他	6,142	1,995	1,752	540
	一般財源	286,937	267,199	263,004	257,252
	うち経常	271,604	185,069	246,551	240,839

６．Ｈ３０年度予算の方向性

方向性
減額
理由
簡易水道の一部を上水道と統合し、企業会計へ移行するため

７．担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	飲料水の安全性の確保と安定供給は必要である。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	多くの市民に対し、安全な飲料水を安定的に供給する必要がある。
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	飲料水の安全性の確保のための水質検査や安定供給のための漏水、施設修理は適切な手段である。
④ 事業の有効性	成果指標の判断	3	目標どおり成果があがってきている。

８．内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
縮小	上水道特別会計との統合に向け、適切な事業実施に努めること。

平成28年度　決算概要書／事務事業評価シート

課　名	上下水道課

予算	款	項	目	決算書	
	ー	ー	ー	486	頁

目　　名
ー

事業名称
公共下水道特別会計事業

１．概要

目的	生活排水を適切に処理し、公共用水域の水質を保全するとともに、公衆衛生の向上を図る	対象	処理区域内の市民
事業概要	○公共下水道事業 大野町田中処理区域内の汚水処理 【処理人口】371世帯　921人 【排水区域面積】76.7ha 【年間処理水量】106,618㎥		

臨／経	細事業名称	事業内容（主な経費等）		前年度決算額（千円）	予算現額（千円）	決算額（千円）	財源内訳				評価
							国・県支出金	地方債	その他	一般	
経常	公共下水道事業	処理人口　921人 処理水量　106,618㎥	償還金利子 および割引料	79,353	83,237	78,999			429	78,570	3
計				79,353	83,237	78,999	0	0	429	78,570	

２．指標設定

成果指標	指標名	汚水処理人口普及率	目標年度	H32	指標の設定理由
	数値	53.0%			総合計画前期基本計画の3-2-(2)で目標としているため

活動指標									
	指標	a	公共下水道	b		c		d	
	数値	目標	1,198人	目標		目標		目標	

３．実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８
汚水処理人口普及率	%	55.2 %	57.3 %	58.5 %
		104.2 %	108.1 %	110.4 %

活動指標名		単位	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８
a	公共下水道	人	1,229 人	1,194 人	1,183 人
			102.6 %	99.7 %	98.7 %
b					
c					
d					

４．課題と対応

課題
浄化槽に普及率は伸びているが、汚水処理人口普及率は県下あるいは全国的に見ても下位に位置している
対応（改善点等）
浄化槽の普及を促進するとともに、公共下水道への接続を促進する

５．事業費・・・Ｈ２６～Ｈ２８（決算額）、Ｈ２９（予算現額）

決算額（千円）		H26	H27	H28	H29
		85,907	79,353	78,999	85,588
	うち経常経費	85,907	79,353	78,999	85,588
財源内訳	国県費				
	市債	7,600	3,700		
	その他	653	2,498	429	441
	一般財源	77,654	73,155	78,570	85,147
	うち経常	85,907	79,353	78,999	85,588

６．Ｈ３０年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
起債の償還、施設の維持管理に一定の経費が必要となるため

７．担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	良質な水環境づくりのため、生活排水による公共用水域の負荷を低減させる必要がある
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	法令等により市が実施主体になることが定められている
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	汚水処理人口普及率を向上させるために必要な事業である
④ 事業の有効性	成果指標の判断	3	汚水処理人口普及率が伸びている

８．内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き、未収金の回収に力を入れるとともに、適切かつ効果的な事業実施に努めること。また、経営のあり方を十分に検討すること。

平成28年度　決算概要書／事務事業評価シート

課　名	上下水道課

予算	款	項	目	決算書	
	ー	ー	ー	504	頁

目　　名
ー

事業名称
浄化槽施設特別会計事業

１．概要

目的	生活排水を適切に処理し、公共用水域の水質を保全するとともに、公衆衛生の向上を図る	対象	施設を利用する市民
事業概要	○浄化槽市町村整備推進事業 緒方町で設置した市町村設置型浄化槽の維持・管理 【処理人口】604世帯　1,618人 【設置総数】669基（うち7基は店舗） 【管理基数】645基		

臨／経	細事業名称	事業内容（主な経費等）		前年度決算額（千円）	予算現額（千円）	決算額（千円）	財源内訳				評価
							国・県支出金	地方債	その他	一般	
経常	浄化槽市町村整備推進事業	処理人口1618人 管理基数645基	委託料	46,393	48,740	45,545	854		28	44,663	3
計				46,393	48,740	45,545	854	0	28	44,663	

２．指標設定

成果指標	指標名	汚水処理人口普及率	目標年度	H32	指標の設定理由
	数値	53.0%			総合計画前期基本計画の3-2-(2)で目標としているため

活動指標									
指標	a	浄化槽	b		c		d	
数値	目標	15,970人	目標		目標		目標	

３．実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８
汚水処理人口普及率	%	55.2 %	57.3 %	58.5 %
		104.2 %	108.1 %	110.4 %

活動指標名		単位	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８
a	浄化槽	人	16,636 人	17,228 人	17,398 人
			104.2 %	107.9 %	108.9 %
b					
c					
d					

４．課題と対応

課題
浄化槽の普及率は伸びているが、汚水処理人口普及率は県下あるいは全国的に見ても下位に位置している
対応（改善点等）
①浄化槽（個人設置型）の普及を促進する ②農業集落排水施設への接続を促進する

５．事業費・・・Ｈ２６～Ｈ２８（決算額）、Ｈ２９（予算現額）

決算額（千円）		H26	H27	H28	H29
		47,609	46,393	45,545	47,380
	うち経常経費	47,609	46,393	45,545	47,380
財源内訳	国県費	858	858	854	565
	市債				
	その他	24	1,394	28	15
	一般財源	46,727	44,141	44,663	46,800
	うち経常	47,609	46,393	45,545	47,380

６．Ｈ３０年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
起債の償還、施設の維持管理に一定の経費が必要となるため

７．担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	良質な水環境づくりのため、生活排水による公共用水域の負荷を低減させる必要がある
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	法令等により市が実施主体になることが定められている
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	汚水処理人口普及率を向上させるために必要な事業である
④ 事業の有効性	成果指標の判断	3	汚水処理人口普及率が伸びている

８．内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き、未収金の回収に力を入れるとともに、適切かつ効果的な事業実施に努めること。また、経営のあり方を十分に検討すること。

平成28年度　決算概要書／事務事業評価シート

課　名	上下水道課

予算	款	項	目	決算書	
	―	―	―	468	頁

目　　名
―

事業名称
農業集落排水特別会計事業

1．概要

目的	生活排水を適切に処理し、公共用水域の水質を保全するとともに、公衆衛生の向上を図る	対象	処理区域内の市民

事業概要

〇農業集落排水事業
三重町上田原、清川町砂田、緒方町馬場・中央・原尻・知田・井上の計7処理区域内の汚水処理
【処理人口】1,258世帯　2,744人
【排水区域面積】151.2ha
【年間処理水量】360,979㎥
【処理区の内訳】
①上田原処理区　処理人口；　79世帯　197人、排水区域面積　；9.2ha
②砂田処理区　　処理人口；225世帯　539人、排水区域面積　；52.5ha
③馬場処理区　　処理人口；550世帯1,048人、排水区域面積　；44.0ha
④中央処理区　　処理人口；222世帯　527人、排水区域面積　；22.0ha
⑤原尻処理区　　処理人口；　54世帯　132人、排水区域面積　；9.0ha
⑥知田処理区　　処理人口；　60世帯　132人、排水区域面積　；6.0ha
⑦井上処理区　　処理人口；　68世帯　169人、排水区域面積　；8.5ha

臨／経	細事業名称	事業内容（主な経費等）		前年度決算額（千円）	予算現額（千円）	決算額（千円）	財源内訳				評価
							国・県支出金	地方債	その他	一般	
経常	農業集落排水事業	処理人口　2,744人 処理水量　360,979㎥	償還金利子 および割引料	234,346	225,768	213,003	3,967	43,600	363	165,073	3
計				234,346	225,768	213,003	3,967	43,600	363	165,073	

２．指標設定

成果指標	指標名	汚水処理人口普及率	目標年度	H32	指標の設定理由
	数値	53.0%			総合計画前期基本計画の3-2-(2)で目標としているため

活動指標									
指標	a	農業集落排水	b		c		d	
数値	目標	3,400人	目標		目標		目標	

３．実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８
汚水処理人口普及率	%	55.2 %	57.3 %	58.5 %
		104.2 %	108.1 %	110.4 %

活動指標名		単位	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８
a	農業集落排水	人	3,281 人	3,247 人	3,174 人
			96.5 %	95.5 %	93.4 %
b					
c					
d					

４．課題と対応

課題
浄化槽の普及率は伸びているが、汚水処理人口普及率は県下あるいは全国的に見ても下位に位置している。
対応（改善点等）
浄化槽の普及を促進するとともに、農業集落排水施設への接続を促進する。

５．事業費・・・Ｈ２６～Ｈ２８（決算額）、Ｈ２９（予算現額）

決算額（千円）		H26	H27	H28	H29
		238,259	234,346	213,003	226,772
	うち経常経費	238,259	234,346	213,003	226,772
財源内訳	国県費	1,051	6,151	3,967	8,000
	市債	65,700	56,700	43,600	39,000
	その他	35,939	10,250	363	640
	一般財源	135,569	161,245	165,073	179,132
	うち経常	238,259	234,346	213,003	226,772

６．Ｈ３０年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
起債の償還、施設の維持管理に一定の経費が必要となるため

７．担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	良質な水環境づくりのため、生活排水による公共用水域の負荷を低減させる必要がある
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	法令等により市が実施主体になることが定められている
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	汚水処理人口普及率を向上させるために必要な事業である
④ 事業の有効性	成果指標の判断	3	汚水処理人口普及率が伸びている

８．内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き、未収金の回収に力を入れるとともに、適切かつ効果的な事業実施に努めること。また、経営のあり方を十分に検討すること。